

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第8号

冬春トマトの灰色かび病防除についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

1 作物名 冬春トマト(大玉・中玉・ミニ)

2 病害虫名 灰色かび病

3 発生状況

- 1) 3月中旬の巡回調査における灰色かび病の発生面積率83.3%(平年 7.0% 前年30.8%)、発病果率8.3%(平年0.3% 前年1.7%)はともに平年より多である。
- 2) 2月にはわずかに発生が見られていたが、3月に入って急激に発生面積、発病果率とも増加が見られた。(図1, 2)

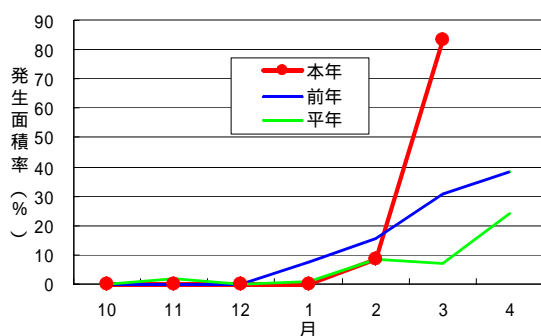


図1 灰色かび病(果)の発生面積率推移

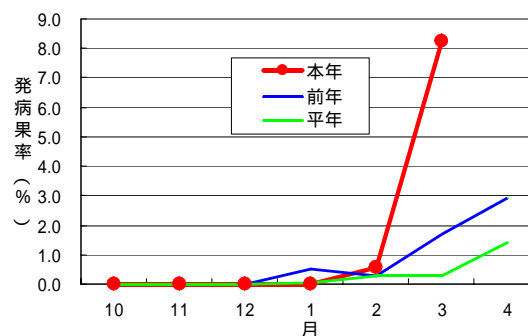


図2 灰色かび病の発病果率推移

4 防除上の注意

- 1) 灰色かび病菌の侵入及び発病は最適温度が15～23℃と比較的低温で、多湿条件であることから、ハウス内の温度および湿度管理に十分注意する。
外気温や温度設定の状況によっては暖房機が稼働しないこともあり、果実等が結露しやすくなるので、送風機を作動させるなどの管理を行う。
- 2) 発病した果実や花卉、茎葉等は伝染源になるので、こまめに取り除いてほ場外に持ち出し、適切に処分する。
かびが出なくても、果実に黄白色の小斑点(ゴーストスポット)が生じることがあり、商品価値を著しく落とすので注意する。
- 3) 病勢が進行すると防除困難となるため、早期発見・早期防除に努める。
- 4) 薬剤耐性菌を生じる恐れがあるので、同一系統薬剤の連用は避ける。
- 5) その他詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、総合農業試験場生物環境部、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。

《連絡先》

病害虫防除・肥料検査センター 米良

TEL : 0985-73-6670 Fax : 0985-73-7499

ホームページ : <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp